

日本とアメリカの笑いのツボや感覚の違い

英語班: 上妻優、中石幸菜、和田優志、村田柚奈

Abstract

The purpose of this study is to investigate the differences between the Japanese and American sense of humor and to help us communicate with each other more smoothly. The investigation revealed that in Japan, many of the jokes are based on the topics which are commonly shared among many people, whereas in the US, jokes are less dependent on the commonly shared topics, and instead sarcasm and satire are frequently used.. This study concludes that there are differences between Japanese and American values of laughter as described above, and that recognizing these differences is important for us to communicate with each other more smoothly.

要約

本研究の目的は、日本とアメリカの笑いのツボや感覚の違いを調査し、円滑なコミュニケーションに繋げることである。調査によって、日本では共通認識と結びついたネタが多く見られるのに対し、アメリカでは共通認識に依存しない、皮肉や風刺の混じったジョークが多用されているということがわかった。従って本研究では、日本人とアメリカ人の笑いの価値観には上記のような違いがあり、その違いを意識することが、円滑なコミュニケーションのために大切であると結論づけられた。

1. はじめに

笑いは万国共通であり、人が生きていくために無くてはならない娯楽の一つである。お互いの言語を理解出来なくても、身振り手振りや話し方で笑いを取ることができる。しかし、日本と海外との間で笑いの価値観の違いが多々あることに気がついた。それらの違いを認識し理解することで、海外の人とのコミュニケーションがより円滑になると考える。そこで、海外、特に日本とよく対比される英語圏のアメリカに焦点を当ててお笑いの価値観の違いについて研究することにした。

2. 研究手法

日本とアメリカの笑いについて書かれた文献を調査し、実際に日本で過去に開催されたお笑い賞レースや劇場での漫才、アメリカの著名なコメディアン動画やコメディ番組などを視聴することによって、二国間の価値観の違いについての理解を深める。

3. 結果

日本の笑いは、漫才やコントなど、主に二人以上で行われ掛け合いをするものが多い。また、あるあるネタのように、共通認識と結びついた内容が多く見られる。一方アメリカの笑いは、スタンダップコメディという一人で笑わせるものが主である。また、アメリカは「人種のサラダボウル」と呼ばれるほど様々な人種や言語が入り混じっているので、共通認識に依存したネタはあまり笑いを生まない。そのため、アメリカンジョークと言われるような皮肉や風刺の混じったユーモアやジョークが多用される。

4. 考察

日本では、お笑いの賞レースが開催されたり、毎日劇場などでイベントが行われたりしている。このことから、日本人は笑いを「娯楽、商業」として捉えていると考えられる。一方アメリカでは、コメディ番組などに見られる日常の会話だけでなく政治の場などの様々な場面でジョークが多用されている。よって、アメリカ人は笑いを「日常の小さな遊び」と捉えていると考えられる。

5. 結論

日本人とアメリカ人の笑いの価値観には、上記のような違いがあることを理解し、意識してコミュニケーションに挑むことが、異なる価値観によるすれ違いの少ない円滑なコミュニケーションに繋げるために大切である。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

根本貴行著(2012)「語用論・文化論的『笑い』の日米比較」

https://tokyo-kasei.repo.nii.ac.jp/record/9700/files/2012_e_0116.pdf (2024.6参照)

ひつじ書房新井克之, ヴォーゲ・ヨーラン著(2023)「ボケとつっこみの言語学」

<https://www.hituzi.co.jp/hituzigusa/2024/09/05/boke-to-tukkomi-04/> (2024.6参照)

大阪大学学術情報庫OUKAVagge Goran著(2016)「外国語のユーモア教育について」

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/56961/JLCE_14_011.pdf (2024.9参照)

日本福祉大学機関リポジトリ小泉純一著(2001)「遊ぶ言葉:英語の笑いとユーモア感覚」

<https://nfu.repo.nii.ac.jp/record/1549/files/gendai104-06koizumi.pdf> (2024.10参照)